

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2022年								2023年									
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~3日	12月 ~10日	12月 ~17日	12月 ~24日	12月 ~31日
カンピロバクター	99	99	47	48	99	77	32	67	75	49	29	47	43	14	13	12	16 (2)	8
病原性大腸菌	90	30	53	40	44	45	81	108	102	56	52	49	80	25	25	23	20	8
腸管出血性大腸菌	1	10	2	0	2	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	16	12	12	14	5	3	13	25	6	12	15	6	3	1	3	2	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	22	26	19	13	20	18	11	8	12	15	18	21	18	2	6	5	0 (1)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	17	18	15	16	20	14	10	11	11	9	5	9	4	4	3	1	4
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	4	1	5	4	1	2	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	5	7	3	2	2	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2

( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第52週(12月25日~12月31日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8			3		3	1	1
三類	0	発生なし	0							
四類	2	デング熱	1					1		
		レジオネラ症	1					1		
五類	18	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	1	1			1		
		後天性免疫不全症候群	1				1			
		侵襲性肺炎球菌感染症	2				1		1	
		バンコマイシン耐性腸内細菌感染症	1				1			
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1						1	
		梅毒	10	1				4	2	3

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

# 週報③

## 広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 5年52週(12月25日～12月31日)

### ■コメント

#### 1 インフルエンザ

定点当たり19.03人の報告がありました。前週と比べて減少しましたが、多い状況が続いています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

#### 2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

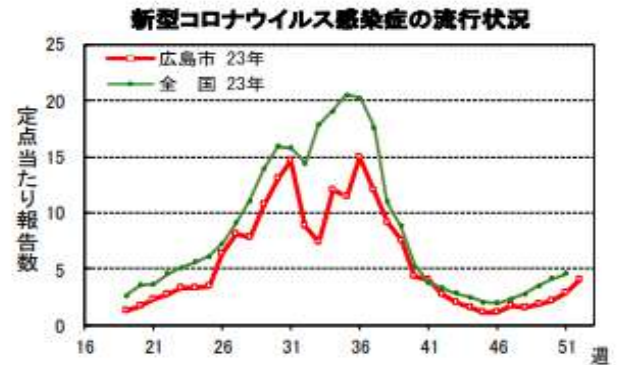
定点当たり4.00人の報告があり、増加が続いています。高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクも高まります。手洗い、換気、医療機関や混雑した電車・バスでのマスク着用など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

#### 3 梅毒

4件の報告がありました。

#### 4 流行性角結膜炎

定点当たり2.50人の報告があり、増加しています。流行性角結膜炎は、感染力が強く、小児から大人まで幅広い年齢層で見られます。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。



### ■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												増減	微増減	
インフル	インフルエンザ	685	19.03	5.24	◇	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.25		↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	新型コロナ(COVID-19)	144	4.00		◇		流行性耳下腺炎	-	-	0.04		↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.19		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03		↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	咽頭結膜熱	104	4.52	0.33	◇		流行性角結膜炎	20	2.50	0.25	◇	↔	↔	ほとんど増減なし
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	89	3.87	1.07	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	感染性胃腸炎	137	5.96	6.68	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-				
	水痘	1	0.04	0.29			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09				
	手足口病	9	0.39	0.57	↓		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	伝染性紅斑	-	-	0.22			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03				
	突発性発しん	3	0.13	0.21										

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

### ■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	130	80歳代・2人、90歳代・1人
4	デング熱	1	3	30歳代・推定感染地域: 国外
4	レジオネラ症	1	34	70歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	6	70歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	11	30歳代・感染者
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	18	80歳代
5	梅毒	4	272	20歳代・3人、50歳代・1人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	11	90歳代